

浜の活力再生広域プラン  
令和8～12年度  
第3期

1 広域水産業再生委員会

組織名	東国東広域水産業再生委員会
代表者名	会長 近乗美信（大分県漁業協同組合同見地区漁業運営委員長）

広域再生委員会の構成員	東国東地域水産業再生委員会 （大分県漁業協同組合同見支店、くにさき支店、武蔵支店、安岐支店、国東市） 大分県
オブザーバー	国東市特産水産物銘柄化推進協議会

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	大分県国東市（大分県漁協国見支店、くにさき支店、武蔵支店、安岐支店の管内）		
	区	正組合員数	漁業種類
	国見地区	40人	底びき網漁業(7名)、ごち網漁業(5名)、刺網漁業(59名)、小型定置網漁業(8名)、潜水漁業(43名)、一本釣漁業(57名)、延縄漁業(34名)、たこつぼ(26名)、採藻(77名)、その他(46名)
	国東地区	54人	
	武蔵地区	25人	
	安岐地区	21人	
	計	140人	
	（令和7年4月1日時点）		

## 2 地域の現状

### (1) 地域の水産業を取り巻く現状等

平成18年3月に4町の合併により誕生した国東市は、大分県の北東部国東半島の東部に位置し、瀬戸内海の伊予灘に面している。

国東市では、刺網漁業・釣漁業・延縄漁業など複数の漁業を営む漁業者が多い。令和6年度の漁業種別の漁獲量では、採藻漁業が最も多く330t、次いで、たこつぼ漁業111t、刺網漁業110tの順となっており、全体で828tを生産している。また、令和6年度の漁船総隻数は主体である5t未満クラスが130隻となっている。

近年は、魚価の低迷や主要漁獲物であるタチウオ等の漁獲量が激減したことに加え、燃油の高騰により漁業コストが上昇し、漁家経営を圧迫している。

また、漁獲対象魚種の稚魚の育成場及びエサ場となる海藻がムラサキウニの食害や水温の上昇により減少し、さらに沖合での操業に関しても漁業者の高齢化に伴い困難になり、漁家所得が減少している。地区の正組合員の65歳以上の割合は64%で、後継者や新規就業者の減少により漁業に携わる人口が減少の一途をたどっているため、新たな担い手、中核的な担い手を確保する必要がある。

このような中、平成27年にヤンマーと共同で干潟域を活用したカキ養殖を開始し、生食に特化した「くにさきOYSTER」（平成27年7月商標登録）を国内外に販売したが、コロナ禍で採算が取れず順調に行かなかった。

令和元年には、大分ウニファームが閉鎖循環式のウニ専用屋内蓄養施設を整備して、中身が空のウニを8～10週間で食用として販売できる技術を実証した。

さらに、令和3年には船上活き締め等、一定基準を満たしたサワラを「国東さわら」としてブランド化し、単価向上を目指している。

加えて、中核的な担い手を育成し、地域を活性化するためにも、既存施設や漁港施設を整備、活用した新たな取組みが求められる。

### (2) その他の関連する現状等

国東市は、半島振興法に基づく指定地域にあり、三方を海に囲まれ、平地に恵まれず、幹線交通体系から離れているなどの制約の下にあることから、産業基盤や生活環境の整備等について他の地域に比較して低位にあり、また、人口減少、高齢化が進行するなど厳しい状況にある。

人口については、平成18年3月に4町（国見町・国東町・武蔵町・安岐町）が合併し、約34,700人となったが、令和7年10月末には24,585人まで減少、日本創成会議が発表した「消滅可能性都市」にあがるなど、これらへの対策が急務となっている。

基幹産業は第1次産業であり、水産業以外では、瀬戸内海式気候であることから、少雨温暖な気候を生かした柑橘栽培が盛んであったが、現在これに代りオリーブやキウイ栽培に力を入れ取り組んでいる。また、平成25年には世界農業遺産に認定されるなど、特色ある農林水産業が行われている地域でもある。

また、テクノポリス構想により昭和50年代後半から先端技術産業が大分空港周辺に集積し操業を開始し、令和2年に大分空港がアジア初の宇宙港に選定されたことから、宇宙港関連企業などの誘致が期待されている。

観光業については、国東地域は神仏習合が色濃い六郷満山文化が栄え、これら神社仏閣など観光資源が多くあり、年間を通じてこれらを活かした観光が主である。

交通アクセスについては、大分空港が立地していることから、2002年開催の日韓サッカーワールドカップを契機に自動車専用道路の整備が始まり、2016年東九州自動車道的全線開通により北九州や宮崎方面からのアクセスは良くなり、「陸の孤島」と呼ばれる状況は徐々に解消されつつあり、今後の交流人口や関係人口の増加が期待される。

### 3 競争力強化の取組方針

#### (1) 機能再編・地域活性化に関する基本方針

##### ① 前期の浜の活力再生広域プランの評価（成果及び課題等）

## ② 今期の浜の活力再生広域プランの基本方針

第2期の結果を踏まえ、地域の活性化に資するため、各地区が一体となって以下の4本の柱からなる取組を実施する。

### 【1. 地域資源管理とその有効活用】

前期に続いて地区内漁協各支店が連携して種苗放流、資源管理、藻場の保全等について、一体的に取り組み、引き続き「小型タコ保護策の検討」や「ヒジキの増殖試験」等に取り組むことで、機能再編・地域活性化を一層推進する。

- ・漁協各支店で実施した藻類の増養殖に係る試験等の成果を共有することで、地域資源管理とその有効活用を引き続き推進する。

### 【2. 流通改善】

広域的な連携を引き続き推進し、地域内漁協への集出荷体制を強化する。また、需要が多いフィレ等の一次加工された水産物の出荷に対応するため、冷蔵設備を整備して大分県漁協本店や東国東地区と隣接する大分県漁協杵築支店との連携を一層強化する。

- ・また、運搬トラックの共同利用をさらに広域へ広げ、運搬コスト（手数料）を下げ、漁業者の所得向上を図るとともに、漁協への集出荷体制を強化する取組を継続する。

### 【3. 地域水産物のブランド化及び消費拡大】

地域水産物として、ブランド化したサワラの販路拡大及びマダコのブランド化・販路拡大の取組を漁協各支店、国東市商工会等の広域的な連携により推進する。サワラ等の県外出荷に備えて、引き続き製氷施設等の集出荷関係施設を整備し、高鮮度化による付加価値向上を図ることで、漁協への集出荷体制を強化し、機能再編・地域活性化を推進する。

また、販路拡大を目指し、各種広報活動を推進して地域水産物の知名度を向上させる。

(サワラ)

各種イベント、ふるさと納税制度、国東市観光協会の公式通販サイト「おおいた国東つうはん」を活用して、「国東さわら」の販路拡大に取り組む。

(マダコ)

- ・資源管理措置により漁獲を安定させ、漁業者等によるタコの加工品の販売を促進することで、タコのブランド化を推進するとともに、六次産業化による漁業収益の向上を図り、ふるさと納税制度を活用して販路拡大に取り組む。
- ・「おおいた国東つうはん」でマダコを含めて地域の水産物の販売を行い、地域活性化につなげる。

### 【4. 海業の推進】

大分空港に近い利点を活かし、観光客を呼び込み地域水産物の販売促進と地域活性化を図るため、県漁協が経営する「銀たちの郷」を活用し、国東市内の水産物、水産加工品を使った新しいメニューの開発や道の駅内にある利点を活かした観光拠点として、地元水産物のPR活動を行う。

## (2) 中核的担い手の育成に関する基本方針

### ① 前期の浜の活力再生広域プランの評価（成果及び課題等）

--

② 今期の浜の活力再生広域プランの基本方針

<p>漁協各支店等が一体的な連携のもと以下の取り組みを行うことで、新規就業者及び中核的の担い手の確保・育成を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水産業が労働対価に見合う魅力ある産業でなければ新規就業者は見込めない。このため、資源管理型漁業や養殖業を一層推進するとともに、省エネ機器や漁船導入等による収入向上・コスト削減に向けた取組を行い、魅力ある漁家経営体を育成する。</li> <li>・新規就業者等に対して、大分県漁業学校等の研修を実施することにより、新規就業者の確保・育成を推進し、さらに青年部活動や各種研修会等を通じて、地域漁業の中核となる担い手の育成強化を図る。</li> <li>・青年部活動や各種研修活動に積極的に参加し、省エネ機器の導入等により収入向上・コスト削減に取り組む漁業者を「中核的漁業者」として認定する。</li> <li>・漁業就業フェアへ参加して新規就業者の確保に努める。</li> </ul>
--

(3) 資源管理に係る取組

<p>漁業法、大分県漁業調整規則、地区毎に策定された資源管理計画（方針）等の順守を徹底する。また、藻場及び干潟の保全活動・種苗放流等を積極的に実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大分県漁業調整規則 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;マダコ&gt; 体重200g以下の採捕、保持、販売の禁止</li> </ul> </li> <li>○大分海区漁業調整委員会指示 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;マコガレイ（第2種特定海洋生物資源）&gt; 全長15cm以下の採捕禁止</li> </ul> </li> <li>○自主規制 <ul style="list-style-type: none"> <li>毎月第2土曜日の休漁</li> <li>&lt;タチウオ&gt; 毎月第2土曜日の休漁</li> <li>上記に加え、5～8月は毎週土曜日の休漁</li> <li>禁漁区の設定（大分県タチウオ資源管理に関する方針）</li> </ul> </li> </ul>
---

(4) 具体的な取組内容

1年目（令和8年度）

取組内容	<p>1. 機能再編・地域活性化の取組</p> <p><b>【1. 地域資源管理とその有効活用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協各支店は、タコ壺及びカゴ漁業者の意見を参考に、マダコの資源管理の強化を図るため、実施可能な小型タコの保護策を検討する。</li> <li>・漁協各支店は、前期に続き、同じ海域で同じ漁法でタチウオを漁獲する漁業者が所属する大分県漁協姫島支店等の関係機関との連携を図りながら、タチウオ資源管理措置（保護区域の設定期間の延長や休漁日を増やす等の産卵親魚の保護策）の強化について検討する。</li> <li>・漁協各支店青年部は藻類の増殖に係る試験成果を漁協各支店間で共有することで、今後の地域資源管理とその有効活用のあり方を検討する。</li> </ul> <p><b>【2. 流通改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協各支店は地域内漁協の出荷体制（漁協各支店による運搬トラックの共同利用による集約化等）を再度見直すことで、コスト削減を図り、漁協への集出荷体制を強化することを検討する。</li> <li>・水産物の一次加工出荷に対応するため、集出荷施設、浮棧橋、冷蔵設備等の整備を検討し、隣接地区漁協との連携を強化する。</li> </ul> <p><b>【3. 地域水産物のブランド化及び消費拡大】</b> (マダコ)</p>
------	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者等によるマダコ加工品を、ふるさと納税制度や「おおいた国東つうはん」を活用して販売促進することを関係者で検討する。</li> </ul> <p>(サワラ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランド化を進めてきたサワラは、ブランドの維持に必要な製氷施設等の集出荷施設の整備について検討するとともに、各種イベント等への出展で販路拡大に取り組む。</li> </ul> <p><b>【4. 海業の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県漁協くにさき支店は、漁協直営の「銀たちの郷」で新メニュー開発について関係者で協議する。また、集客につながるPR活動を検討する場を設定する。</li> </ul> <p>2. 中核的担い手の育成の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協各支店は、競争力強化型機器等導入事業、広域浜プラン実証調査事業、浜の担い手漁船リース事業等により、引き続き収入向上・コスト削減の取組を推進する。</li> <li>・漁協各支店は、新規就業支援として、国東市が実施している「空き家バンク」や「マイホーム新築・購入応援奨励金」制度等を活用し、引き続き移住定住をサポートする。</li> <li>・漁協各支店は、引き続き新規就業者等に対して、大分県漁業学校等の研修を実施し、青年部活動や各種研修会等を通じて、将来地域漁業の中核となる担い手の育成強化を図る。</li> <li>・国東市内の県漁協各支店は、漁業就業フェアへ参加して新規就業者の確保を図る。</li> </ul>
活用する支援措置等	<p>広域浜プラン緊急対策事業（広域浜プラン実証調査）  競争力強化型機器等導入緊急対策事業  水産業競争力強化緊急施設整備事業  浜の担い手漁船リース緊急事業  水産業競争力強化金融支援事業  水産基盤整備事業  漁業人材育成総合支援事業  水産多面的機能発揮対策事業  青年就業準備給付金  資源造成型栽培漁業推進事業（県）及び浅海増殖事業（市）  地方創生関連事業  水産業競争力強化漁港機能増進事業</p>

2年目（令和9年度）

取組内容	<p>1. 機能再編・地域活性化の取組</p> <p><b>【1. 地域資源管理とその有効活用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東国東広域水産業再生委員会において、漁協等で検討した小型タコの保護策について地区内に周知して、タコの資源管理を一層高度化する。</li> <li>・引き続き漁協各支店は、大分県漁協姫島支店等の関係機関との連携を図りながら、タチウオ資源管理措置（産卵親魚の保護策）の強化について検討する。</li> <li>・引き続き、漁協各支店青年部が、藻類の増殖に係る試験等を行い、その成果を漁協各支店間で共有することで、今後の地域資源管理とその有効活用のあり方を検討する。</li> </ul> <p><b>【2. 流通改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、漁協各支店は、地域内漁協の出荷体制を見直す（運搬トラックの共同利用による集約化等）ことで、運搬コスト削減を図るとともに、共同出荷が合理的に実施できるよう、漁協への集出荷や漁獲物の一時保蔵体制を強化する。</li> <li>・大分県漁協は出荷拠点とする漁港等において、集出荷施設浮棧橋等の整備を行う。</li> </ul>
------	--

	<p><b>【3. 地域水産物のブランド化及び消費拡大】</b> (マダコ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、ふるさと納税制度や「おおいた国東つうはん」を活用して、漁業者によるマダコの加工品の販売を促進することで、マダコのブランド化を推進するとともに、六次産業化による漁業収益の向上を図る。</li> </ul> <p>(サワラ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、ブランド維持のため、出荷する際の規格等について検討するとともに、各種イベント等への出展に取り組む。</li> </ul> <p><b>【4. 海業の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、県漁協くにさき支店は、漁協直営の「銀たちの郷」で新メニュー開発について関係者で協議、集客につながるPR活動を検討する場を設定する。</li> </ul> <p>2. 中核的担い手の育成の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、漁協各支店は、競争力強化型機器等導入事業、広域浜プラン実証調査事業、浜の担い手漁船リース事業等により、収入向上・コスト削減の取組を推進する。</li> <li>引き続き、漁協各支店は、新規就業支援として、国東市が実施している「空き家バンク」や「マイホーム新築・購入応援奨励金」制度等を活用し、移住定住をサポートする。</li> <li>引き続き、漁協各支店は、新規就業者等に対して、大分県漁業学校等の研修を実施し、青年部活動や各種研修会等を通じて、将来地域漁業の中核となる担い手の育成強化を図る。</li> <li>引き続き、県漁協各支店は漁業就業フェアへ参加して新規就業者の確保を図る。</li> </ul>
活用する支援措置等	<p>広域浜プラン緊急対策事業（広域浜プラン実証調査） 競争力強化型機器等導入緊急対策事業 水産業競争力強化緊急施設整備事業 浜の担い手漁船リース緊急事業 水産業競争力強化金融支援事業 水産基盤整備事業 漁業人材育成総合支援事業 水産多面的機能発揮対策事業 青年就業準備給付金 資源造成型栽培漁業推進事業（県）及び浅海増殖事業（市） 地方創生関連事業 水産業競争力強化漁港機能増進事業</p>

3年目（令和10年度）

取組内容	<p>1. 機能再編・地域活性化の取組</p> <p><b>【1. 地域資源管理とその有効活用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県漁協は、2年目までに検討した小型タコ保護策を引き続き漁業者へ周知して、マダコ資源管理の合意形成に努める。</li> <li>引き続き、漁協各支店は、大分県漁協姫島支店等の関係機関との連携を図りながら、タチウオ資源管理措置（産卵親魚の保護策）の強化について検討する。</li> <li>引き続き、漁協各支店青年部が、藻類の増殖に係る試験等を行い、その成果を漁協支店間で共有することで、今後の地域資源管理とその有効活用のあり方を検討する。</li> </ul> <p><b>【2. 流通改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、漁協各支店は、地域内漁協の出荷体制を見直す（運搬トラックの共同利用による集約化等）ことで、運搬コスト削減を図るとともに、漁協への集出荷体制を強化する。</li> <li>引き続き、大分県漁協は出荷拠点とする漁港等において、集出荷施設や浮棧橋</li> </ul>
------	---

	<p>等の整備を行う。</p> <p><b>【3. 地域水産物のブランド化及び消費拡大】</b> (マダコ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、ふるさと納税制度や「おおいた国東つうはん」を活用して、漁業者によるマダコの加工品の販売を促進することで、マダコのブランド化を推進するとともに、六次産業化による漁業収益の向上を図る。</li> </ul> <p>(サワラ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大分県漁協くにさき支店は、サワラのブランド維持と集出荷を行うために必要な倉庫や製氷機等の施設を整備し、出荷先の関係者との意見交換を継続的に行うことで、品質の改善に努める。併せて、各種イベント出展を通じて新たな販路開拓に取り組む。</li> </ul> <p><b>【4. 海業の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県漁協くにさき支店は、関係者で協議した新メニューについて、試食会等を開催して、新規のメニュー開発を推進する。</li> <li>集客につながるPR活動を関係機関と連携して推進していく。</li> </ul> <p>2. 中核的担い手の育成の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、漁協各支店は、競争力強化型機器等導入事業、広域浜プラン実証調査事業、浜の担い手漁船リース事業等により、収入向上・コスト削減の取組を推進する。</li> <li>引き続き、漁協各支店は、新規就業支援として、国東市が実施している「空き家バンク」や「マイホーム新築・購入応援奨励金」制度等を活用し、移住定住をサポートする。</li> <li>引き続き、漁協各支店は、新規就業者等に対して、大分県漁業学校等の研修を実施し、青年部活動や各種研修会等を通じて、将来地域漁業の中核となる担い手の育成強化を図る。</li> <li>引き続き、県漁協各支店は漁業就業フェアへ参加して新規就業者の確保を図る。</li> </ul>
活用する支援措置等	<p>広域浜プラン緊急対策事業（広域浜プラン実証調査） 競争力強化型機器等導入緊急対策事業 水産業競争力強化緊急施設整備事業 浜の担い手漁船リース緊急事業 水産業競争力強化金融支援事業 水産基盤整備事業 漁業人材育成総合支援事業 水産多面的機能発揮対策事業 青年就業準備給付金 資源造成型栽培漁業推進事業（県）及び浅海増殖事業（市） 地方創生関連事業 水産業競争力強化漁港機能増進事業</p>

4年目（令和11年度）

取組内容	<p>1. 機能再編・地域活性化の取組</p> <p><b>【1. 地域資源管理とその有効活用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き県漁協は、2年目までに検討したマダコ資源管理措置を漁業者が順守するように合意形成に努め、指導する。</li> <li>引き続き、漁協各支店は、大分県漁協姫島支店等の関係機関との連携を図りながら、タチウオ資源管理措置（産卵親魚の保護策）の強化について検討する。</li> <li>引き続き、漁協各支店青年部が、藻類の増殖に係る試験等を行い、その成果を共有することで、今後の地域資源管理とその有効活用のあり方を検討する。</li> </ul> <p><b>【2. 流通改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、漁協各支店が、地域内漁協の出荷体制を見直す（運搬トラックの共</li> </ul>
------	---

	<p>同利用による集約化等) ことで、運搬コスト削減を図るとともに、漁協への集出荷体制を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、大分県漁協は出荷拠点とする漁港等において、集出荷施設や浮棧橋等の整備を行う。</li> </ul> <p><b>【3. 地域水産物のブランド化及び消費拡大】</b> (マダコ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、ふるさと納税制度や「おおいた国東つうはん」を活用して、漁業者によるマダコの加工品の販売を促進することで、マダコのブランド化を推進するとともに、六次産業化による漁業収益の向上を図る。</li> </ul> <p>(サワラ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大分県漁協くにさき支店は、ブランド化した(一定の規格の)サワラの出荷量増加を図るため、引き続き、新たな販路開拓等の取組を行う。</li> </ul> <p><b>【4. 海業の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、県漁協くにさき支店は、関係者で協議した新メニューについて、試食会等を開催して、新規のメニュー開発を推進する。</li> <li>引き続き、集客につながるPR活動を関係機関と連携して推進していく。</li> </ul> <p>2. 中核的担い手の育成の取組 (共通(漁船漁業・養殖業))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、漁協各支店は、競争力強化型機器等導入事業、広域浜プラン実証調査事業、浜の担い手漁船リース事業等により、収入向上・コスト削減の取組を推進する。</li> <li>引き続き、漁協各支店は、新規就業支援として、国東市が実施している「空き家バンク」や「マイホーム新築・購入応援奨励金」制度等を活用し、移住定住をサポートする。</li> <li>引き続き、漁協各支店は、新規就業者等に対して、大分県漁業学校等の研修を実施し、青年部活動や各種研修会等を通じて、将来地域漁業の中核となる担い手の育成強化を図る。</li> <li>引き続き、漁業就業フェアへ参加して新規就業者の確保を図る。</li> </ul>
活用する支援措置等	<p>広域浜プラン緊急対策事業(広域浜プラン実証調査) 競争力強化型機器等導入緊急対策事業 水産業競争力強化緊急施設整備事業 浜の担い手漁船リース緊急事業 水産業競争力強化金融支援事業 水産基盤整備事業 漁業人材育成総合支援事業 水産多面的機能発揮対策事業 青年就業準備給付金 資源造成型栽培漁業推進事業(県)及び浅海増殖事業(市) 地方創生関連事業 水産業競争力強化漁港機能増進事業</p>

5年目(令和12年度)

取組内容	<p>1. 機能再編・地域活性化の取組</p> <p><b>【1. 地域資源管理とその有効活用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県漁協は、2年目までに検討したマダコ資源管理措置を漁業者へ示して順守するよう指導する。</li> <li>東国東広域水産業再生委員会は、姫島村広域水産業再生委員会等の関係機関と連携し、タチウオ資源管理措置(産卵親魚の保護策)について合意形成を図り、実践する。</li> <li>漁協各支店は、これまでの試験結果を踏まえ、藻場の保全及びその有効利用を図る。</li> </ul>
------	--

	<p><b>【2. 流通改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協各支店が、地域内漁協の出荷体制を見直す（運搬トラックの共同利用による集約化等）ことで、運搬コスト削減を図るとともに、漁協への集出荷体制を強化する。</li> <li>・大分県漁協は出荷拠点とする漁港等において、集出荷施設や浮棧橋等の整備を行う。</li> </ul> <p><b>【3. 地域水産物のブランド化及び消費拡大】</b></p> <p>(マダコ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税制度や「おおいた国東通販」を活用して、漁業者によるマダコの加工品の販売を促進することで、マダコのブランド化を推進するとともに、六次産業化による漁業収益の向上を図る。</li> </ul> <p>(サワラ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大分県漁協くにさき支店は、ブランド化した（一定の規格の）サワラを含めて地域内サワラの出荷量増加を図り、新たな販路開拓等の取組を行う。</li> </ul> <p><b>【4. 海業の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県漁協くにさき支店は国東市内の水産物を使用した新規のメニューを「銀たちの郷」で提供する。</li> <li>・集客につながるPR活動を関係機関と連携して推進していく。</li> </ul> <p>2. 中核的担い手の育成の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協各支店は、競争力強化型機器等導入事業、広域浜プラン実証調査事業、浜の担い手漁船リース事業等により、収入向上・コスト削減の取組みを推進する。</li> <li>・漁協各支店は、新規就業支援として、国東市が実施している「空き家バンク」や「マイホーム新築・購入応援奨励金」制度等を活用し、移住定住をサポートする。</li> <li>・漁協各支店は、新規就業者等に対して、大分県漁業学校等の研修を実施し、青年部活動や各種研修会等を通じて、将来地域漁業の中核となる担い手の育成強化を図る。</li> <li>・漁業就業フェアへ参加して新規就業者の確保を図る。</li> </ul>
活用する支援措置等	<p>広域浜プラン緊急対策事業（広域浜プラン実証調査）</p> <p>競争力強化型機器等導入緊急対策事業</p> <p>水産業競争力強化緊急施設整備事業</p> <p>浜の担い手漁船リース緊急事業</p> <p>水産業競争力強化金融支援事業</p> <p>水産基盤整備事業</p> <p>漁業人材育成総合支援事業</p> <p>水産多面的機能発揮対策事業</p> <p>青年就業準備給付金</p> <p>資源造成型栽培漁業推進事業（県）及び浅海増殖事業（市）</p> <p>地方創生関連事業</p> <p>水産業競争力強化漁港機能増進事業</p>

#### (5) 関係機関との連携

##### 【1. 地域資源管理とその有効活用】

- ・大分県、国東市、漁協各支店等が連携のうえ、効果的な資源管理等を検討・実施する。

##### 【2. 流通改善】

- ・大分県、国東市、漁協本店・各支店が連携のうえ、検討・実施する。

##### 【3. 地域水産物のブランド化及び消費拡大】

- ・マダコ及びサワラについては、大分県、国東市、漁協各支店、国東市特定水産物銘柄化推進協議会等が連携のうえ、常設の地元産品販売施設（道の駅2カ所、里の駅1カ所、銀たちの郷（JF直営））や都市圏のアンテナショップ（福岡市天神）等と協力のうえ、推進する。

##### 【4. 海業の推進】

- ・漁協直営の「銀たちの郷」を活用して、地元水産物を使った新メニュー開発、加工品販売を推進する。

##### 【5. 新規就業者及び中核的担い手の確保・育成】

- ・大分県、国東市、漁協本店・各支店が連携のうえ、推進する。

#### (6) 他産業との連携

- ・ブランド化した地元水産物を地元商工会（飲食店）と出荷企業が連携のうえ、一部を市内に提供することにより、観光産業との連携を模索し、合せて地元で開催される各種イベントに「国東市特産水産物銘柄化推進協議会」の支援を受け出店する等して、地元水産物の認知度を上げていく取組みを行うことにより、関係人口の増加による漁村の活力の再生に取り組む。
- ・国東市商工会等と連携のうえ、各種加工品開発等を行い、観光客等へのお土産、定番名物料理として提供できるよう検討する。
- ・国東市観光協会の「おおいた国東つうはん」と連携して、地元水産物の販売、PR活動に取り組む。

## 4 成果目標

### (1) 成果目標の考え方

#### 【マダコ単価の向上】

- ・本プランでは、マダコの資源管理を推進するとともにブランド力の一層の強化を図ることとしており、マダコの単価向上を成果目標とする。

#### 【「銀たちの郷」集客数の増加】

- ・本プランでは、「銀たちの郷」を活用して、地域活性化を図ることとしており、集客数の増加を成果目標とする。

#### 【サワラ単価の向上】

- ・本プランでは、タチウオに替わる主要漁獲物となりつつあるサワラのブランド化を図ることとしており、単価向上を成果目標とする。

#### 【中核的漁業者の認定数】

- ・本プランでは、大分県漁業学校等を活用して新規就業者を確保・育成するとともに、漁業者の収入向上・コスト削減の取組を推進し、中核的漁業者の確保・育成を図ることとしており、中核的漁業者の認定数を成果目標とする。

(2) 成果目標

① 機能再編・地域活性化の取組に係る成果目標

マダコの単価向上	基準年	令和6年度 : 1, 274 (円/kg)
	目標年	令和12年度 : 1, 400 (円/kg)
「銀たちの郷」集客数	基準年	令和6年度 : 36, 712 (人/年)
	目標年	令和12年度 : 40, 400 (人/年)
サワラの単価向上	基準年	令和6年度 : 1, 486 (円/kg)
	目標年	令和12年度 : 1, 589 (円/kg)

② 中核的担い手の育成の取組に係る成果目標

中核的漁業者の認定数	基準年	令和6年度 : 0 (人/年)
	目標年	令和12年度 : 4 (人/年)

(3) 上記の算出方法及びその妥当性

<p><b>【マダコの単価向上】</b> 基準年：令和6年度の平均単価とする。 目標年：第2期広域浜プランの「くにさき姫だこ」の単価向上では、基準年の令和元年の単価951円/kgから令和6年までの5年間で33%単価向上したが、直近3年間、単価は横ばいで推移しているため、5年間で約10%の単価向上を目標として、1,400円/kgとした。</p> <p><b>【「銀たちの郷」集客数の増加】</b> 基準年：令和6年度の年間客数を基準集客数とする。 目標年：浜の活力再生プランが5か年で10%以上の所得増加を目標としていることを踏まえ、新しいメニュー開発、観光産業との連携により、5か年で10%以上の増加を目標とした。</p> <p><b>【サワラ単価の向上】</b> 基準年：本プランで、サワラの出荷拠点と位置づけている大分県くにさき支店における令和6年度の平均単価とする。 目標年：ブランド化するサワラの規格等を定めた上で、該当するサワラが出荷魚全体の2割程度と仮定。ブランド化されたサワラが市場で2,000円/kg以上の評価が得られると仮定し（残りの8割のサワラは1,486円/kgで出荷）、最終年度の平均単価の目標を1,589円/kgとした。</p> <p><b>【中核的漁業者の認定数】</b> 基準年：令和6年度の中核的漁業者の認定数。 目標年：正組合員数の減少、高齢化が進んでいるが、漁業士など中核的な漁業者を育成して4人（1地区1人×4地区）認定することを成果目標とした。</p>
---

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生広域プランとの関係性
広域浜プラン実証調査（広域浜プラン緊急対策事業）	浜の活力広域浜プランに基づく実証的な取り組みを実施する。
競争力強化型機器等導入緊急対策事業	生産性の向上、省力・省コスト化に資する漁業用機器等を導入する。
水産業競争力強化緊急施設整備事業	競争力強化のために必要となる施設を整備する。
浜の担い手漁船リース緊急事業（水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業）	中古漁船又は新造漁船の導入を支援する。
水産業競争力強化金融支援事業	漁船の建造・取得・改修、漁業用機器等の導入に係る負担軽減を図る（融資）。
水産基盤整備事業	競争力強化のために必要な漁港、漁港関係施設、増殖施設等を整備する。
漁業人材育成総合支援事業	新規漁業就業者を対象とした研修等を実施する。
水産多面的機能発揮対策事業	藻場の保全のための活動（岩盤清掃、ウニ類の除去等）を実施する。
青年就業準備給付金	新規就業者に対して漁業学校による研修・支援を行う。
資源造成型栽培漁業推進事業（県）・浅海増殖事業（市）	種苗放流に対して支援を行う。
地方創生関連事業	地域おこし協力隊制度や空き家バンク制度等、各種地域活性化に資する支援制度を活用し、新規就業者等の受入体制を整える。
水産業競争力強化漁港機能増進事業	漁港における漁業活動の省力化・軽労化、漁港利用の安全性確保、水揚げ作業等の円滑化のため、漁業活動の基盤となる漁港施設の機能強化を図り、以て地域水産業の競争力の維持・強化を図る。